

夕風荘

トビウタ



成人向け

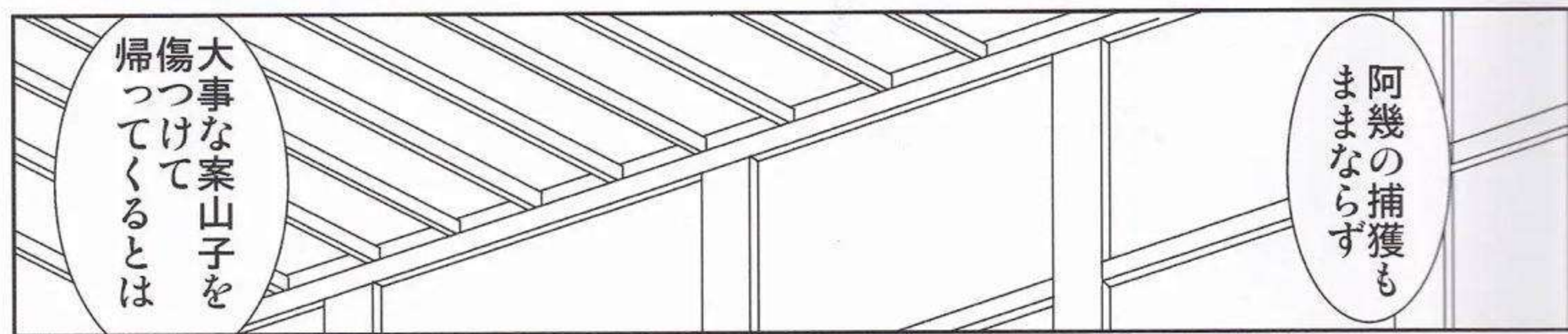


不始末だったな
詩緒



申し訳
ありませんでした

おじいさ
お館様



阿幾の捕獲も
ままならず

大事な案山子を
傷つけて
帰ってくるとは



阿幾を捕まえるなんて
荷が重すぎるのかよ！
思わないのかよ！

詩緒はまだ子供だぞ！



隻としての自覚が
足らんのではないのか？

おじいさん！



自分の妹の
ことだろうか！

任を解かれた
お前が口を出す
問題ではない

隻になった以上
子供だろうともう
一人前だ



まだ子供だというならば、
子供でなくしてやれば、
良いだけのこと



まあよい、既に
手は考えてある



その者たちと交わり
甘えを捨てた一人の
「女」となるがいい

これより村の男衆を
ここに集める



ふざけんな！
ポケてんのか
じいさん！

黙らせろ



恭平君!

口を出すなど
言ったはずだ

ガッ



が!

キ



…何十年前の話だよ

特に女の隻との交わりは
神と交わることとされ
この村では神聖化されて
おったのだ



さして珍しい
話でもない

性交をもつて
成人の儀式とする
風習は今でも各地に
残っておる



お館があの子供を
出してきたからには
必ず何か企んでおる!

しかし、日向の奴らに
不穏な動きのある今
悠長なことは
言つてられんのだ!



理解しろ匡平
儂にも孫を大事に
思う気持ちはある

現に今までも
多少のことには
目をつぶってきた



あ…あ…

すまんな詩緒
これも隻として
定めと思え

す



でもこんな小さい子に
そんな事させるの
を見て見ぬふりは
できないわね

私は村の掟とか
そういうことは
全然わからないわ



ならば提案を
変えよう



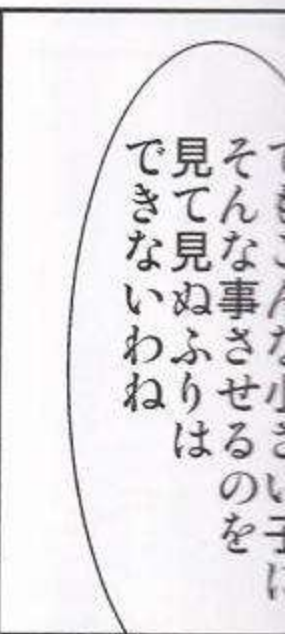
でも詩緒ちゃんはまだ
私の大切な友達なの

部外者だからって
わかった



：司馬の娘か
悪いがこれは
儂らの村の問題だ

部外者なのは
百も承知よ





大丈夫よ
お姉さんに
任せときなさい

ふむ...



：条件を飲むわ
そのかわり詩緒ちゃんには
手を出さないって
約束して頂戴？

日々乃!?



：ごめんね
匡平君



俺が：俺が
なんとかするから...

そんな提案なんて...
聞く必要ない

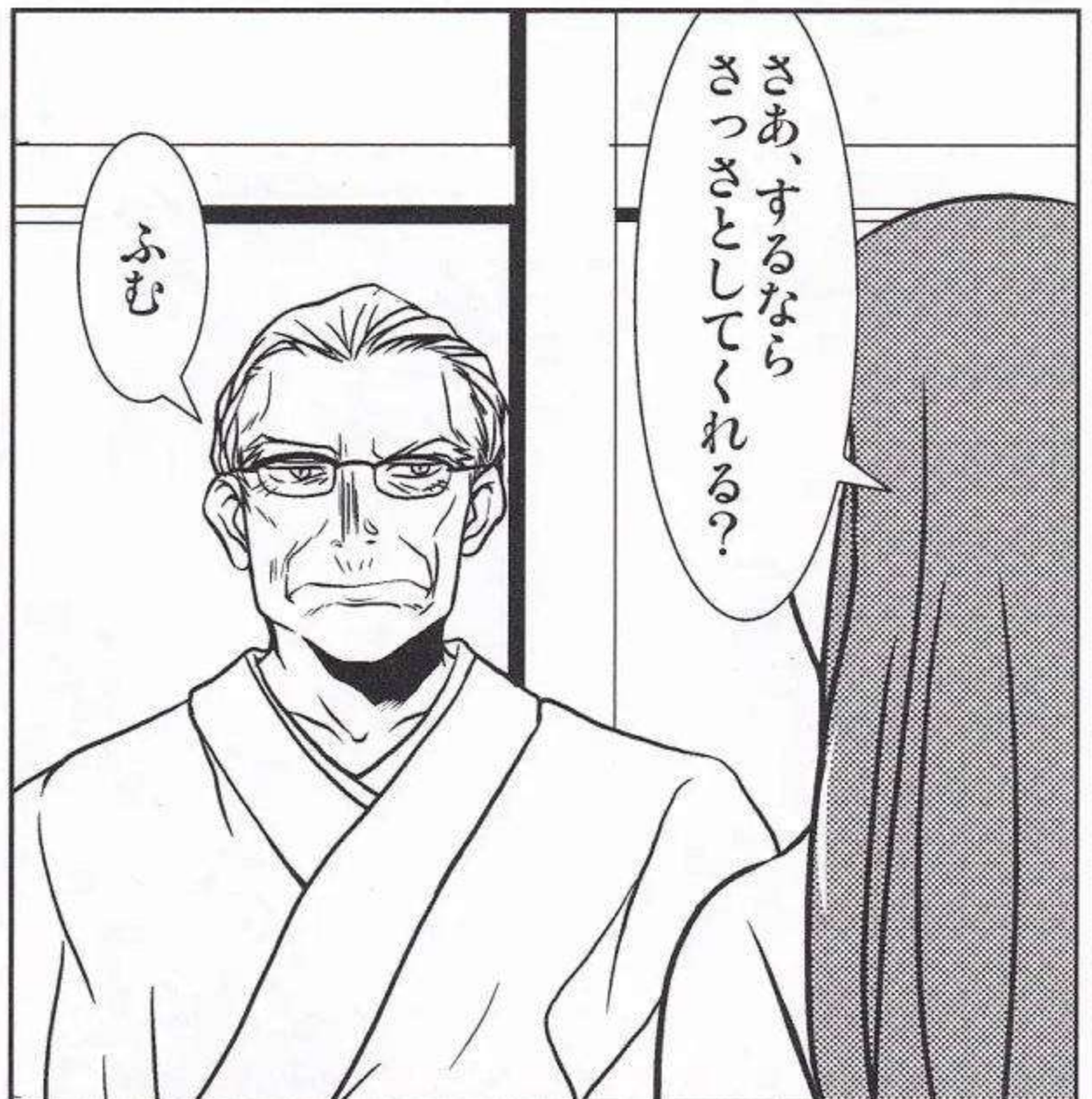


駄目だ...
日々乃さん



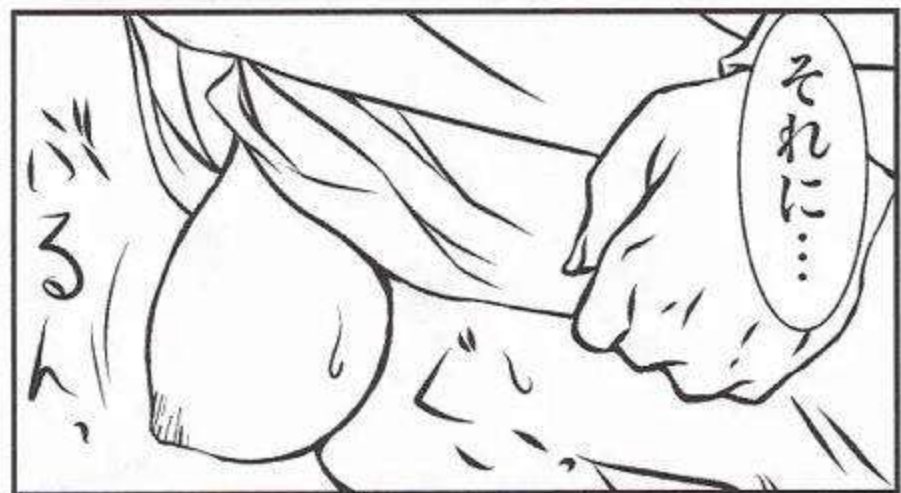
勇ましいことだ
おい、準備しろ

はっ



ふむ

さあ、するなら
さっさとしてくれろ？



それに…



この方が色々と
楽しみやすいからな

むにーい



途中で暴れられると
面倒だからな
念のためだ

ちよつと！
なんで縛る
必要があるのよ！



都会の女はみんな
こんななのか？



手で掴んでても
こぼれ落ちそうだけ

それにしても
でけえ乳だな

むにーい



へえ、それじゃ
むこうでもこんな
デカ乳にはめったに
お目にかかれねえ
ってことか

そんなわけ…
ないでしょ



おっ
いいなその表情

あんなたちなんか
絶対に屈しないってか？



そりやいい事
聞いたぜ

都会でも貴重な
おっぱいを好きに
出来るなんてな



好き放題
言つて…！



そんな状況で
無理やりつてのが
こつちも燃えるんだよ

もにゅっ

最低…っ



まあそうだよなあ



気を張つてないと
匡平にあんたが
よがる姿を
見られちゃうもんな



ああ：私本当に
犯されちゃうんだ…

好きでもなんでもないと、
男共に犯されるなんて、
最高に屈辱だろ？

へへ、いい格好に
なってきたじゃねえか



んなこと言っても
もう濡れてきてんぞ？



や、やめて
そこは…

あん？



あーもう
我慢できねえ!

挿れるぞ、
いいだろ?

ちよつと待って、
ゴムは?

にちっ

何言ってるんだ
この村にそんなもん
あるわけねーだろ



そんなっ



し
びく

くあ……っ
太……いッ

もう、
抜いてえ……っ



へえ、都会のものには
遊んでると思ってたが、
そうでもないのか？

ちゅっ
ちゅっ

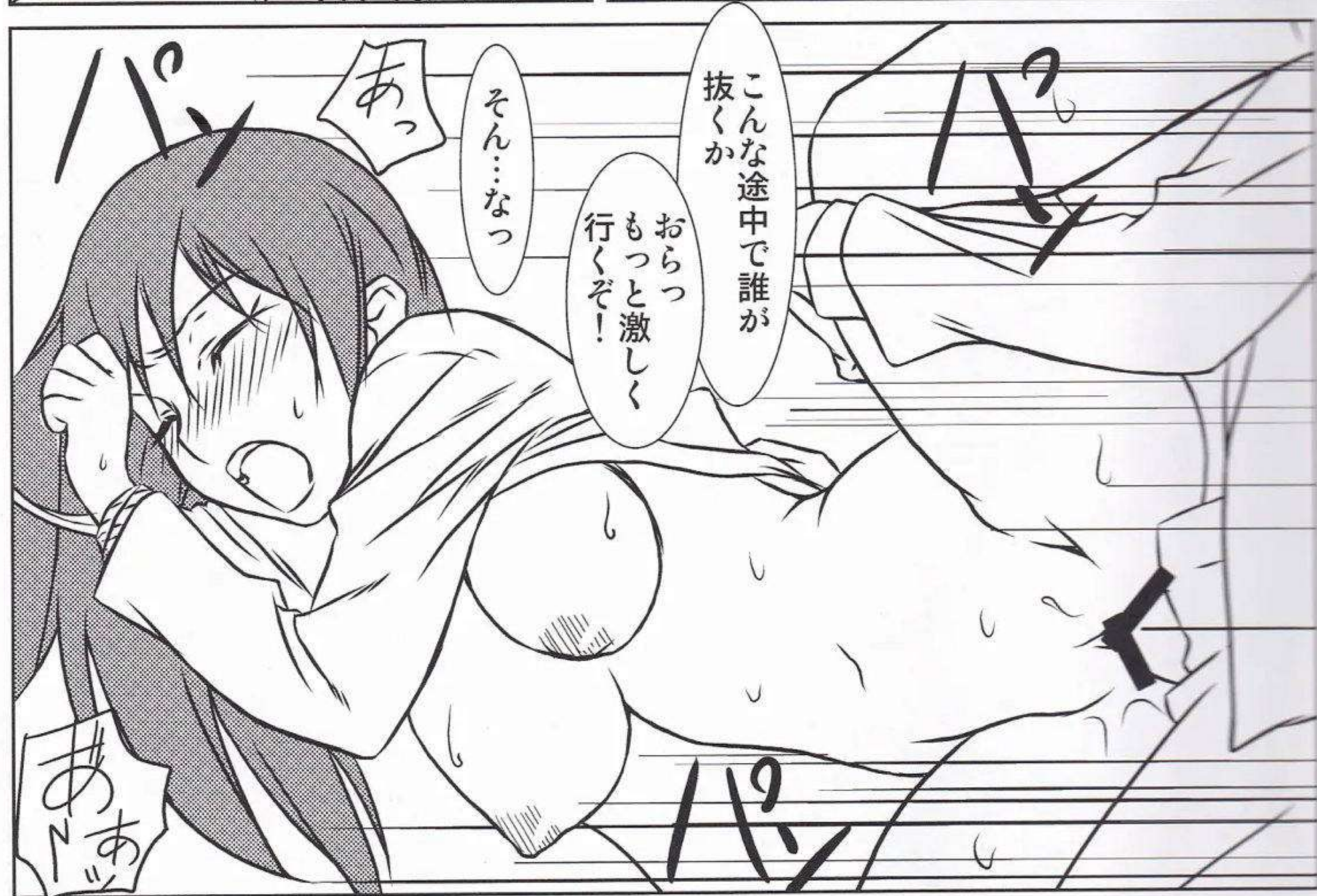
ぴつちりと締ま……っ
いいマンコだぜ

ちゅっ
ちゅっ



ズ
シュッ

ズ
チュ



こんな途中で誰が
抜くか

おらっ
もっと激しく
行くぞ！

そん……なっ

あっ

あ
あ
ッ

パッ

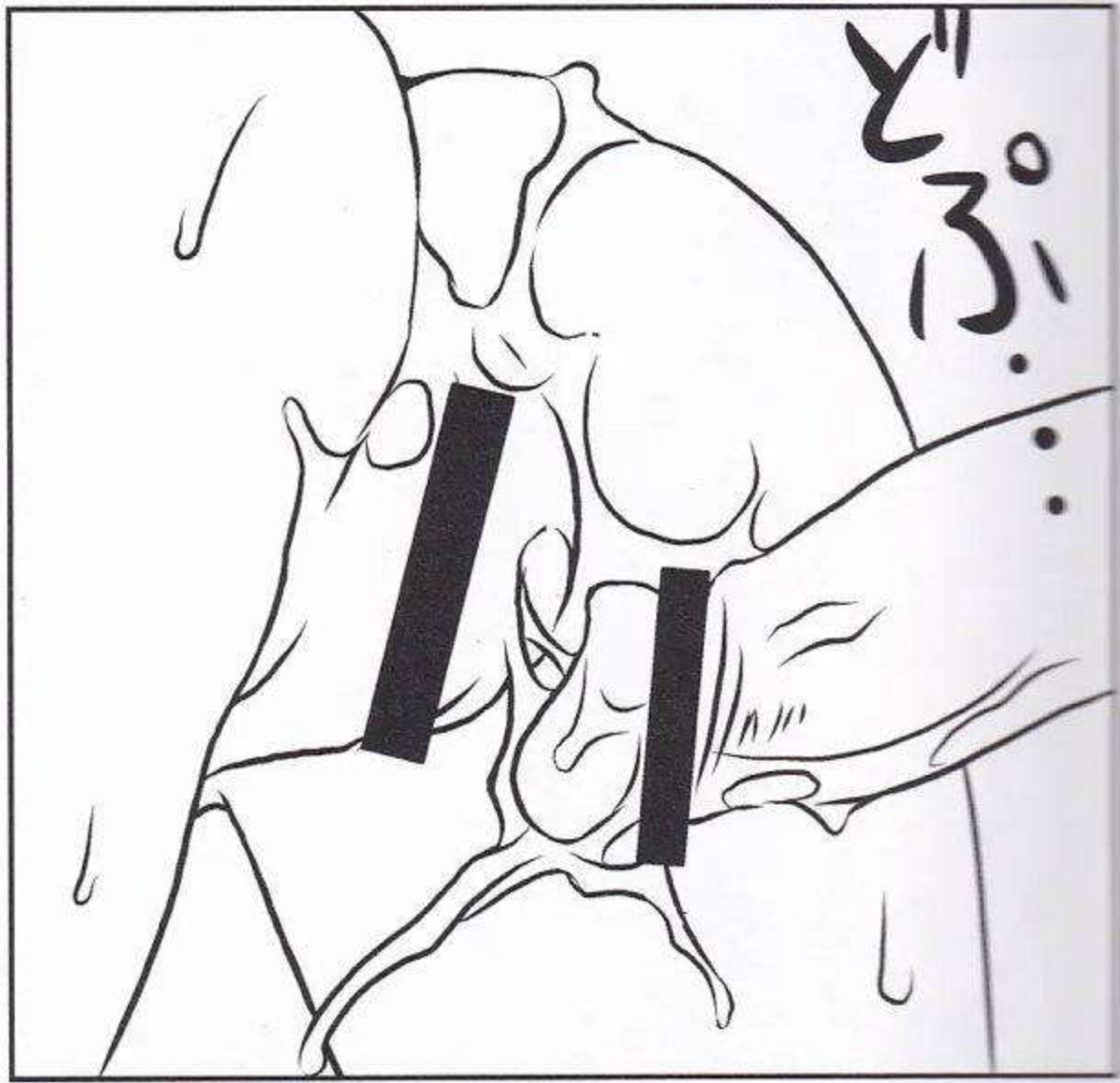




よし、腕ほどいてやんな、もう暴れたりしねえたる

はー

はー



どぶい



当たり前だろ男衆どれだと思つてんだ

んっ

ここに居る全員を満足させなさいぞ



やっと、終わった

ふ

何言つてんだまだこれからだろ

え？



おら今度は口も使いな

んむっ

ざんげ

おら次はこつちだ
休んでんじやねえぞ

後がつかえてんだ
片手でしごきながら
もう片方を啜えんだよ

フェラなんて
したこと無いのに
いきなりこんな...

れるっ

チンタラしてんなあ
そんな調子じゃ
いつまで経っても
終わらねーぞ

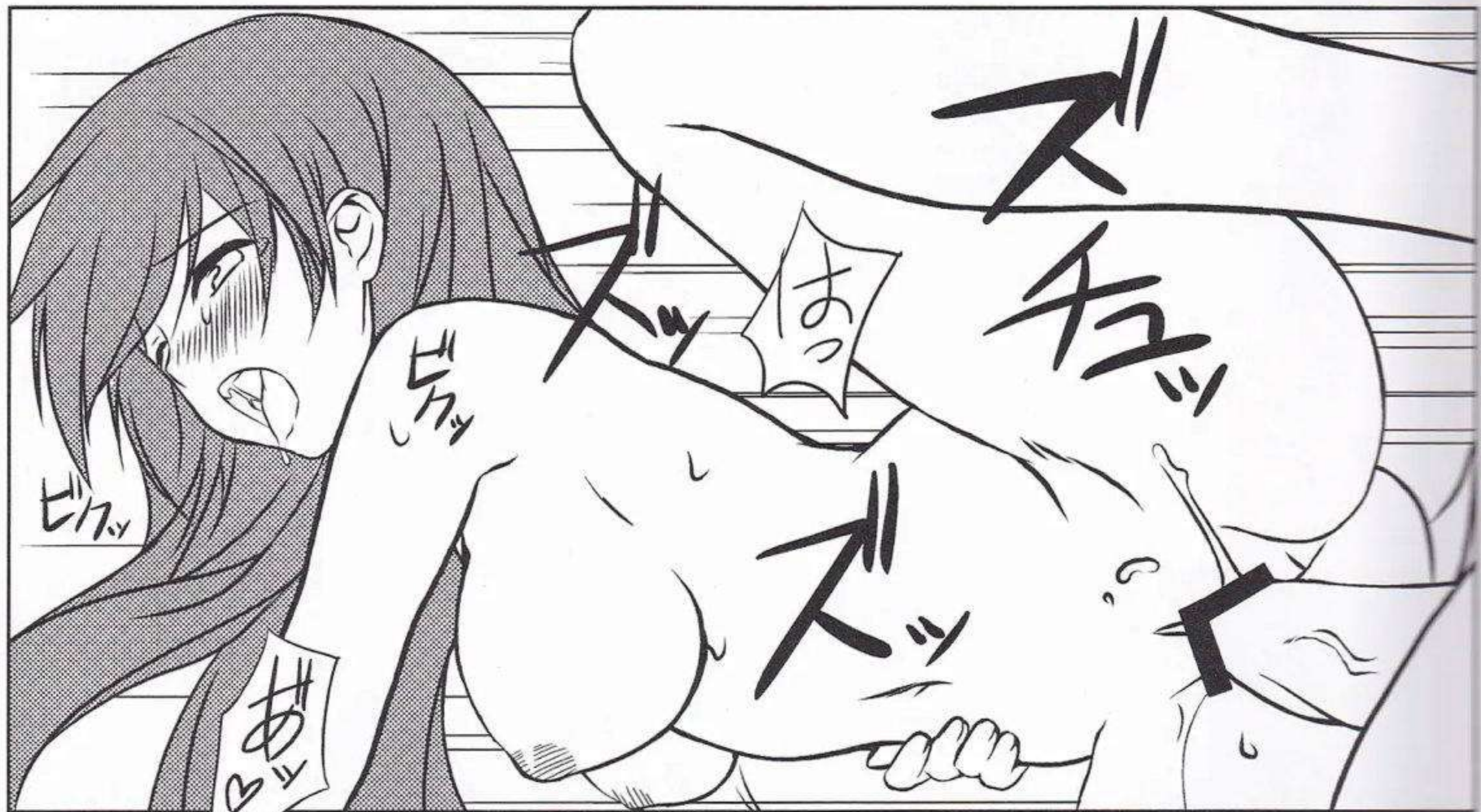
ちよ、
ちよっと！

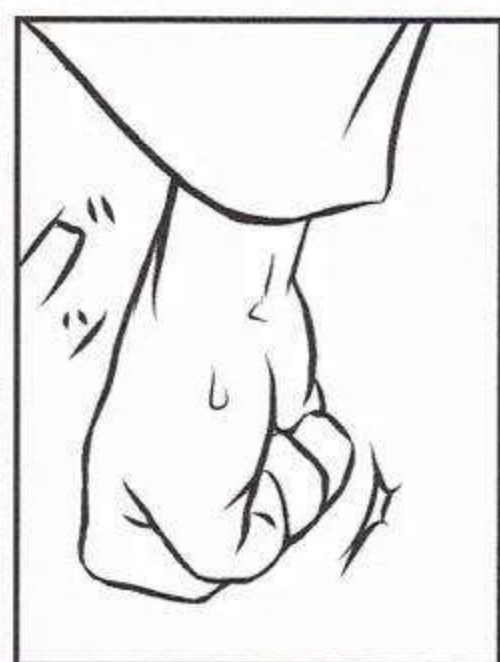
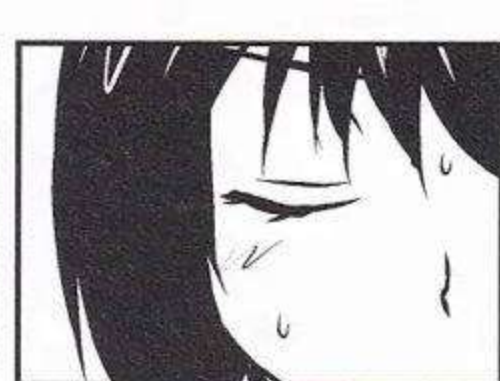
むにっ

ズ
ズ

こつちも使って
ペース上げてやるよ

だ...めっ
あッ







ちよつと
失礼しますよ
詩緒様



おい、あれを

へい



詩緒っ！



むぐっ！？



体が、熱い…

股のあたりが
ムズムズする…っ



なに…これ？
なににか飲まさされた…？



あ…？

はは、お子様には
刺激が強すぎたか？

詩緒ちゃん！

詩緒ちゃんに
何をしたの!?

ん？知りたいか？

ゴポ...

なら教えてやるよ
その体に直接な

ちよつと、
何するのよ！

やめて！

ポ...

これであんたも
楽しめるようになるぜ

こんなの
楽しめるわけ...っ

んっ
ピクッ

これが何か
知りたいんだらう？
すぐにわかるさ

嘘...
なんなのこれ...っ

はっ...



何...これ...
全身に電気が
流れてるみたい...



ふああっ



ぬちゃっ
もともとは案山子に
塗りこんで人の精神を
伝えるためのもんだが、
人に使えばこのとおり



カムノ...チ...?

これはカムノチって
いつてな、もうどこかで
聞かされたか?

ぬろっ



あッ...



つまりどうなるか
って言うとは...



肌には浸透すると
周りの人間の
思念が直に身体に
叩き込まれるんだ

自分の快感に俺たちの快感も上乘せされるってことだ!



うあっ



どうだ? 感じ方がさつきとはケタ違いだろうが

そんな... こと...



こっちにもあんなの思念が流れてきてるんだ 隠し事は出来ねえよ



まあそんなもん無くてもこんなだけマン汁だらだら 垂らしてれば感じてるのはバレバレだけどな



意地はんなよ 楽になっちまいな



おらっ口に出して
言ってみろ!

気持ちいいんだろ?
チンポ力任せに突っ込まれて
感じてんだろ?あ?



いい!
気持ちいいの!

あそこと頭の中、
同時に犯されてる
みたいで...っ!



する...奉仕するわ、
あそこも、口も、手も、
全部使って貴方たちを
気持ちよくする...

だから...



よく言った、これでもう
あんたはよそ者じゃねえ
今から俺らの女だ

よそ者じゃ...
ない?

ああ、村の男達全員で
朝晩ぶつ通して
可愛がってやるからな
しっかり奉仕しろよ?





ほら、自分で
広げて挿れやすく
して下さい

は…い…

くぱあ

もう完全に頭が
飛んじまってんな



はあッ

あッ



特別にとびきり濃いやつを
飲ませてやったからな、
頭ん中真っ白だろ

あ…あ…



ほら、詩緒様の中に
入って行きますよ…

ぬ
ぶい
ぶい

これで詩緒様も
大人の仲間入りですよ
どうですか？初めての
セックスの感想は？

い、痛い…
痛いよう…っ

初めてはみんな
そんなもんです
じきに良くなりますよ

ぬちゅっ

んんッ

ぬちゅ

あ…ッ

ほら、膣内で
射精しますよ、しっかりと
受け止めて下さい

あッ

ぬちゅ

おい、あんたの
大事なお友達が
ひどい事されてるぜ、
助けなくていいのか？

どうして？
邪魔する必要
なんてないわ

こんなに気持ちいいこと、
詩緒ちゃんも知らなくちや
かわいそうだわ

ピカッ

はっ

あっあ

ははっ、さっきと全然
言ってることが違う
じゃねーか

んっ

あ

あっ来る！
今にも出そう
なのがこっちにも
伝わって来る！

ピカッ

おらっ、そろそろ出すぞ！
膣内にぶちまけてやるから
こぼすんじゃねえぞ！

すっ

すっ
ちゅ

ピカッ

射精して、膣内で
たくさん出して頂戴！

びる





トビウタ

こんにちは。かなな鉄木です。

今回は『神様ドオルズ』のヒロイン、日々乃さん・詩緒の本を描かせていただきました。最初は日々乃さんメインで、詩緒は見ているだけのつもりだったのですが、あまりに詩緒が可愛かったので急遽ページ増やして詩緒も描いちゃいました。そのせいで締め切りがかなりやばくなっちゃいました。が：制作に関わってくれた方々にはご迷惑おかけしてすみませんでした。

今回は世間から閉ざされた村っていうシチュエーションがエロいんじゃないかなろうかと、舞台を空守村に選んでみたのですが、そのせいでおじいちゃんがあんなすごい悪い人になっちゃいましたね。原作でもちよつと黒いところはあるんですけど。原作といえば、アニメはすごい中途半端に終わっちゃいましたけど、2期はやるんでしょうか。どうなんでしょう。なにはともあれ、今回は自分にしては珍しく大きいおっぱいをたくさん描けて楽しかったです。次回は何を描くのか決まっちゃいませんが、きつと何か描くと思うので、見かけたときはどうぞよろしくお願いします。

さて、今回も本を作るにあたり、事務その他一切引き受けてくれたたまきさん、そしてこの本を手にとって見て頂いた皆様方、本当にありがとうございました。また次の本でお会いできたらと思います。それではーっ。

ども、たまきです。

ご覧いただきありがとうございます。今回ほどイラストで畳み掛けるように作ったのは初めてですね。楽しかったです。またどこかでお会いしましょう。ではでは。

著者 かなな鉄木
発行 夕風荘

<http://yunagiso.blogspot.com>
yunagiso@gmail.com

印刷 B.H.Press
発行日 2011/12

